

DRAGON PARTY

2011/12/06(tue) - 12/11(sun)

11:30~18:30 (最終日は17:00まで)

ドラゴン - 龍は空想の生き物です。

曲がりくねるツメ、3本、5本、空を翔る、鋭い眼、轟く雷鳴...

恐ろしげな古代絵巻物の龍、生活道具に写されたひょうげた竜

軽やかに舞う二本足の燃えるドラゴン、爆裂疾走するDRAGON

その時代の思いを託されて、さまざまに表現されてきました。

今年はいろいろありました。

落ちくる滝を溯り龍と成るよう、来年に向けて！

年末はドラゴンの背中に乗って、ひとッ騒ぎの Party Time ☆

ドラゴンをテーマにジャンルを問わない小品の Exhibition です。



DRAGON PARTY

k.okawa

泉 理恵／内山良子／大川和宏／鬼塚 kama／近藤オハナ／the the

つくる／Creation

「人はなぜものをつくるのか？」

大昔からいわれてきた、人類の謎めいた疑問です。

この大命題に立ち向かいたいのですが、立ち向かいようもなく「こんなの、つくってみました」というシリーズです。

が、軽くはありません。

中には「軽さ」を信条として、あえて「かるーくつくっちゃった」人もいるかもしれませんが、とに

かく軽くはありません。

重量の問題でもありません。

なぜなら、重い焼いた粘土(しかも 1200 度超の高温)があつたり、軽いフェルトでつくった人形(しかも自立する)があつたりするからです。

では、軽くなければ重いのかというと、そうでもありません。

世情の時事問題などをカウンターとし、コンセプトなどといって「頭で戦っているもの」ではないからです。

ここでは「つくりたいから、つくっているもの」のご紹介です。

日本人は手先を使ってつくる人がたくさんいます。

割合は女性が多いです。

今の日本の男性はほとんどがサラリーマンや宮仕えなので、お金をつくったり、規則をつくったりしていて、自分のものや自分すらもつくるヒマがないのです。

だからといって、ここに紹介する人たちはヒマだからつくっているわけではありません。

そんなことというと、怒られます。

たぶん、「おもしれえーから、つくってる」(ちょっと品がないですが)のだと思います。

昔は男もずいぶんといろんなおもしれえーものをつくる人がいたようですが、今はシステム化されたところでつくるひとたちがほとんどです。

話しは飛びますが、老人ホームでは女性の活発さが目立ちます。

男性はたいがいひとりでたたずんでいます。

女性は手やからだで生活してきて、現代の男性は残念ながら狩猟や農耕ではなく、頭脳で生きてきたため、まわりになにもなくなると、オロオロしてしまうらしいです。

狩猟の生活にもどれなくても、今のうち、なんかおもしれえーことを見つけて、おもしれえーものをつくるようところがければ、老人ホームでの生活は OK です。

日本の男、がんばれ。

日本の男の応援歌になってしまいましたが、どうぞ、<つくる／Creation>シリーズをお楽しみください。



大川和宏



内山良子



泉 理恵



鬼塚 Kama



近藤オハナ



the the